

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	「先天性魚鱗癬患者における網羅的サイトカイン検索による最適な治療法の検討」
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学皮膚科で先天性魚鱗癬の診断で通院している患者 「網羅的サイトカイン探索および in vitro モデルシステムを用いた遺伝性皮膚疾患の治療法の開発(2020-0041) 研究責任者：林 良太」で同意を得ている患者	
③概要	
先天性魚鱗癬は様々な原因遺伝子の変異により皮膚のバリア機能が障害され、皮膚が厚くなる病気ですが、現在有効な治療法がありません。本研究では、既に取得した先天性魚鱗癬患者の血液を用いて病気に関連するサイトカインを調べることで新たな治療法が開発できるか検討を行います。また、既に取得している皮膚組織標本を用いて、サイトカインが関与しているかどうかについても検討を行います。	
④申請番号	2022-0018
⑤研究の目的・意義	先天性魚鱗癬は様々な原因遺伝子の変異により皮膚のバリア機能が障害され、皮膚が厚くなる病気です。多くの患者は大量の鱗屑が生じることにより著しく日常生活に支障をきたします。近年の研究により原因遺伝子が多く同定されていますが、根治的な治療法は存在しません。保湿剤、角質溶解剤の外用、エトレチナートの内服などを行うことが多いですが、効果は限定的です。また、エトレチナートは催奇形性があるため、避妊を行う必要があるなど使用しづらいという問題点もあります。本研究では様々な遺伝子変異による先天性魚鱗癬患者の血清を用いて網羅的にサイトカインを検索することにより、先天性魚鱗癬の新規治療法の可能性について検討を行うことを最大の目的としています。本研究により先天性魚鱗癬患者の症状を少しでも緩和できる治療法を見出せる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	先天性魚鱗癬患者の血液、皮膚組織標本を用います。既に採取している検体であり、新たに取得することはありません。 本学の対象患者の血液、皮膚組織標本は本学でのみ解析するため共同研究施設に提供されることはありません。 研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報	対象となる患者から既に得ている皮膚組織標本、血清、患者背景(年

の項目	年齢、性別、臨床症状（発症時期、皮疹の性状、重症度）、診断名、 家族歴）
⑨利用する者の範囲	新潟大学皮膚科 林 良太、安齋 理、勝見達也、阿部理一郎
⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	本学：新潟大学皮膚科 林 良太
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学医歯学総合病院皮膚科 氏名：林 良太 Tel：025-227-2282 E-mail：rh19840629@med.niigata-u.ac.jp